

東海大学 がん看護・緩和ケア研究会

10月の事例

A氏は進行膵がんで外来化学療法によっても進行し、全身状態は悪化していった。

A氏は明るく自分から苦痛を訴えない特性で、

「痛くないよう過ごしたい」「動けるようになりたい」と言葉少なに望みを語っていた。

症状がやわらいだ状態で、A氏が何をしたかったのか、十分に意向をくみ取れないまま急速に傾眠状態に陥ってしまった。

A氏に、どのように関わればよかったのか？

理論やモデルを用いて、事例を分析します。

- 開催日時: 2014年10月25日(土)13:00~16:00
(10:00~12:00: がんと遺伝、遺伝カウンセリングの基礎講義)
- 場所: 東海大学伊勢原キャンパス 1号館6階6FD教室
- アクセス: 小田急線『伊勢原駅』下車
徒歩20分またはバス10分(東海大学病院下車)
- お問い合わせ: tokai.gankango@gmail.com
- 資料代として200円をご準備ください。

* 参加証が必要な方は当日お申し出ください。後日送らせていただきます。